

「常葉グリーン宣言」の制定



キーワード 環境保全、社会的使命の表明、省エネルギー、啓発活動、地域社会への還元

〇取り組んだきっかけ

常葉大学および常葉大学短期大学部では、学友会、学生評議員会が主体となってSDGsに取り組んでおり、教職員も教育研究活動において環境保全に関わる様々な活動を行っています。しかしながら、活動の柱となる本学全体の方針はこれまで示されていませんでした。そこで「常葉グリーン・プロジェクト」担当の私と学長室の担当者が中心となり、大学という教育研究機関の社会的使命として、今起きている環境問題に対しどのようなことを行っていけばよいかを「常葉グリーン宣言」として策定することになりました。この6月、各キャンパス事務局代表者らとの意見照会、学長並びに教職員代表者からなる企画運営会議を経て制定に至りました。



〇活動の目的

「常葉グリーン宣言」制定の目的は、環境問題に対し高い関心を持ち、環境改善の啓発活動を積極的に展開し、持続可能な社会の実現に貢献することで、地域社会、日本そして世界の環境保全に寄与する姿勢を学内外に表明することです。本学は、省エネルギー・省資源・3R(Reduce, Reuse, Recycle)等に取り組み環境負荷の低減に努めるとともに、環境保全に資する研究成果を社会へ還元することによって環境保全に積極的に努めていくことを宣言しています。

〇具体的な内容

具体的な基本方針は次の7つの項目にまとめられます。どれも本学の各組織・部署、学生・教職員の一人ひとりが意識して取り組むことで達成することができるはずです。

小田 寛人

短期大学部 日本語日本文学科
教授、副学長

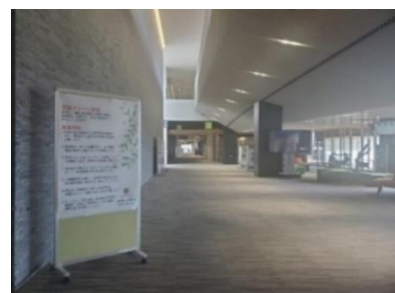


- (1) 環境保全を課題とする教育研究の推進を図り、環境保全に資する教育研究の発展に貢献します。
- (2) 環境保全に対する意識が高く、また環境問題の解決に貢献する人材を育成します。
- (3) 学内における省エネルギー、省資源、3Rを積極的に進め、環境負荷の低減に努めます。
- (4) 教育研究活動をはじめとするあらゆる活動において、環境関連の法令等を遵守します。
- (5) 公開講座等を展開し、環境保全にかかわる教育研究成果を地域社会に還元していきます。
- (6) 学内外で環境保全に関する啓発活動を積極的に行い、意識の高揚・普及を図ります。
- (7) ホームページ等を通して本方針を学内外に積極的に公開し、環境保全への取り組みに理解と協力を求めています。

〇期待される効果

今後本学で行う環境保全に関する活動は、この「常葉グリーン宣言」を柱として行うこととなります。昨年度の「常葉グリーン・プロジェクト2022」では節電意識を高める活動でしたが、今年度の「常葉グリーン・プロジェクト2023」では電気・ガス使用量の削減目標値を設定し、環境保全に資する研究成果を地域社会に還元する活動を推進していきます。これにより、環境保全活動をより広く捉えて活動していくことが期待されます。

「常葉グリーン宣言」は本学ホームページで公表していますが、常に意識して行動することができるように、後期の間、ポスターにして学内掲示することになりました。本学の環境保全に対する姿勢・方針が浸透していくことを期待しています。



連絡先

常葉大学 学長室